
2012年度 第2四半期 決算説明会

2012年11月5日



三菱ガス化学株式会社

本日の出席者

取締役社長

酒井 和夫

機能化学品カンパニープレジデント

倉井 敏磨

天然ガス系化学品カンパニープレジデント

酒井 幸男

特殊機能材カンパニープレジデント

渡邊 哲志

芳香族化学品カンパニープレジデント

山根 祥弘

財務経理センター長

佐藤 康弘

目次

1. 第2四半期決算概要 …… P 4～ 7
2. 通期予想 …… P 8～ 9
3. セグメント別の決算概要と下期見通し …… P10～18
4. 「MGC Will2014」不採算事業の構造改革 …… P19～20
5. 参考資料 …… P21～23

連結 2012年度 第2四半期実績



【単位：億円】

	2012年度 第2四半期累計	2011年度 第2四半期累計	増減	増減率
売上高	2,327	2,300	27	1.2%
営業利益	39	75	▲ 35	▲ 47.6%
(持分法利益)	(99)	(104)	(▲ 4)	(▲ 4.6%)
経常利益	112	162	▲ 49	▲ 30.7%
税前利益	77	140	▲ 62	▲ 44.9%
四半期純利益	81	121	▲ 39	▲ 33.0%

【単位：円/株】

1株当たり 四半期純利益	17.97	26.79	▲ 8.82
中間配当金	6.0	6.0	—

- 芳香族化学品や電子材料は需要低迷により販売数量が減少したほか、メタノール・アンモニア誘導品は市況が下落したものの、電子工業用薬品やポリカーボネートの販売数量が増加し、メタノール販売価格が堅調に推移。結果、売上高は微増。
- 営業利益は、化学品全般の販売価格下落によるマージン悪化や、ポリカーボネートシート・フィルム、電子材料の販売数量減少などにより、35億円の減益。
- 持分法利益は、海外メタノール生産会社の業績が前年同期並みとなったものの、営業利益の悪化により、経常利益は49億円減益。
- 当期純利益は、投資有価証券評価損などの特別損失を計上し、39億円の減益。
- 中間配当金は前年同期と同額の6円/株。

※ 本頁以下に記載されている数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示は単位未満四捨五入で表記しております。

連結 2012年度 第2四半期 営業外損益・特別損益



【単位:億円】

	2012年度 第2四半期累計	2011年度 第2四半期累計	増減
営業外損益	73	87	▲ 14
持分法投資損益	99	104	▲ 4
金融収支	▲ 3	0	▲ 3
為替差損	▲ 8	▲ 5	▲ 3
その他	▲ 13	▲ 11	▲ 2

特別利益	3	4	▲ 1
受取保険金	1	4	▲ 3
その他	1	0	1
特別損失	▲ 38	▲ 26	▲ 11
投資有価証券評価損	▲ 16	▲ 15	▲ 0
支払補償引当金繰入額	▲ 8	-	▲ 8
事業整理損失引当金繰入額	▲ 8	-	▲ 8
環境改善対策費用	▲ 3	▲ 4	1
訴訟関連損失	▲ 1	-	▲ 1
減損損失	▲ 0	▲ 0	▲ 0
災害による損失	-	▲ 5	5

➤ 投資有価証券評価損として、16億円を計上。

➤ 技術供与契約に基づく補償金の支払いに備えるため、支払補償金8億円を引当計上。

➤ コエンザイムQ10事業撤退に伴う損失見込み額として、事業整理損失8億円を引当計上。

(注)本表の増減は対損益増減を示しております。

連結 2012年度 第2四半期 貸借対照表



【単位:億円】

	2012年9月末	2012年3月末	増減	メモ
流動資産	2,609	2,540	69	
現預金	334	274	59	
売掛債権	1,247	1,220	27	
棚卸資産	832	760	71	
その他	195	284	▲ 89	
固定資産	3,507	3,412	95	
有形・無形固定資産	2,016	1,944	72	設備投資:177億円、減価償却:▲107億円
投資有価証券	1,332	1,329	2	
その他の資産	158	138	20	
資産合計	6,117	5,952	164	
負債	3,140	3,031	108	
買掛債務	825	694	130	
有利子負債	1,803	1,851	▲ 48	
その他	511	485	26	
純資産	2,976	2,921	55	
株主資本	3,199	3,146	53	自己資本比率
その他の包括利益累計額	▲ 327	▲ 329	1	2012年9月末:47.0%、2012年3月末:47.3%
少数株主持分	104	104	0	
負債・純資産合計	6,117	5,952	164	

連結 2012年度 第2四半期 キャッシュフロー計算書



【単位：億円】

	2012年度 第2四半期累計	2011年度 第2四半期累計	増減
営業キャッシュフロー	248	239	8
税前利益	77	140	▲ 62
減価償却費	107	134	▲ 26
持分法投資損益	▲ 99	▲ 104	4
持分法適用会社からの配当金受取額	74	77	▲ 3
運転資金等	96	12	84
法人税等支払額	▲ 8	▲ 20	12
投資キャッシュフロー	▲ 155	▲ 202	47
設備資金	▲ 147	▲ 198	51
投融資資金等	▲ 8	▲ 3	▲ 4
財務キャッシュフロー	▲ 82	▲ 227	145
借入金・社債増減等	▲ 51	▲ 204	152
配当金支払	▲ 31	▲ 23	▲ 7
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 4	▲ 9	5
現金及び現金同等物の増減	6	▲ 200	206
現金及び現金同等物の期首残高	357	467	▲ 110
現金及び現金同等物の四半期末残高	363	267	95

連結 2012年度 通期予想

【単位:億円】

	2012年度 11月予想	2012年度 8月予想	差異	(参考) 2011年度 通期実績	差異
売上高	4,700	4,800	▲ 100	4,522	177
営業利益	100	130	▲ 30	90	9
(持分法利益)	(200)	(200)	0	(205)	(▲ 5)
経常利益	260	280	▲ 20	261	▲ 1
税引前利益	150	250	▲ 100	254	▲ 104
当期純利益	120	230	▲ 110	123	▲ 3

2012年度(8月予想)との差異について

- 営業利益は、下期において、中国におけるPC子会社の損益悪化や、汎用用途のBT材料の販売数量減少などにより、30億円の悪化を見込む。
- 持分法利益は、メタノール生産会社の業績が堅調に推移し、8月予想並み。
- 不採算事業の構造改革に伴う損失見込額を可能な範囲で見積もり、特別損失に織り込む。

【単位:円/株】

1株当たり 当期純利益	26.56	50.90	▲ 24.34	27.28	▲ 0.72
年間配当金	12.0	12.0	-	12.0	-

- 以上の結果、当期純利益は、8月予想に比べ110億円の減益、前期並みの120億円。
- 年間配当金は、12円/株を維持。

セグメント別 連結 2012年度 通期予想



【単位:億円】

	2012年度			2011年度			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,327	2,372	4,700	2,300	2,221	4,522	27	151	177
天然ガス系化学品	812	827	1,639	777	822	1,599	34	5	40
芳香族化学品	651	616	1,267	684	587	1,271	▲ 32	28	▲ 4
機能化学品	651	668	1,319	602	618	1,221	49	49	98
特殊機能材	264	305	570	282	236	518	▲ 17	69	51
その他	3	8	12	4	5	9	▲ 0	3	3
消去または全社	▲ 55	▲ 54	▲ 109	▲ 49	▲ 48	▲ 98	▲ 6	▲ 5	▲ 11
営業利益	39	60	100	75	15	90	▲ 35	44	9
天然ガス系化学品	▲ 6	11	5	4	▲ 0	3	▲ 10	12	1
芳香族化学品	▲ 6	▲ 3	▲ 9	7	▲ 17	▲ 10	▲ 13	14	0
機能化学品	44	42	86	37	37	75	7	4	11
特殊機能材	20	21	41	34	3	37	▲ 13	17	3
その他	1	2	3	2	0	2	▲ 0	1	0
消去または全社	▲ 14	▲ 12	▲ 26	▲ 10	▲ 7	▲ 18	▲ 3	▲ 4	▲ 8

(参考)

持分法利益	99	100	200	104	101	205	▲ 4	▲ 1	▲ 5
-------	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

天然ガス系化学品

【単位:億円】

	2012年度(実績・予想)			2011年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	812	827	1,639	777	822	1,599	34	5	40
営業利益	▲ 6	11	5	4	▲ 0	3	▲ 10	12	1

2012年度 上期(実績)

➤ メタノール

販売数量は前年同期並み、市況が高水準で推移(アジア市況:\$349 → \$385)したものの、市況上昇による仕入コストの増加により、増収減益。

➤ メタノール・アンモニア系化学品

アンモニアの収益は、市況が堅調に推移したため前年同期並み、ネオペンチルグリコールの販売数量減少やMMA系製品の海外市況下落により減収も、損益は前年同期並み。

➤ 酵素・補酵素類

コエンザイムQ10の販売数量が低調に推移し減収も、損益は前年同期並み。

➤ エネルギー販売

原油販売価格が堅調に推移し、増収増益。

2012年度 下期(予想)

堅調な販売数量・価格と、上期の仕入仮価格の精算により、増収増益を見込む。

アンモニア市況は高水準を維持するも、ネオペンチルグリコール販売数量やMMA系製品の海外市況が引き続き低調に推移し、上期並みの収益を見込む。

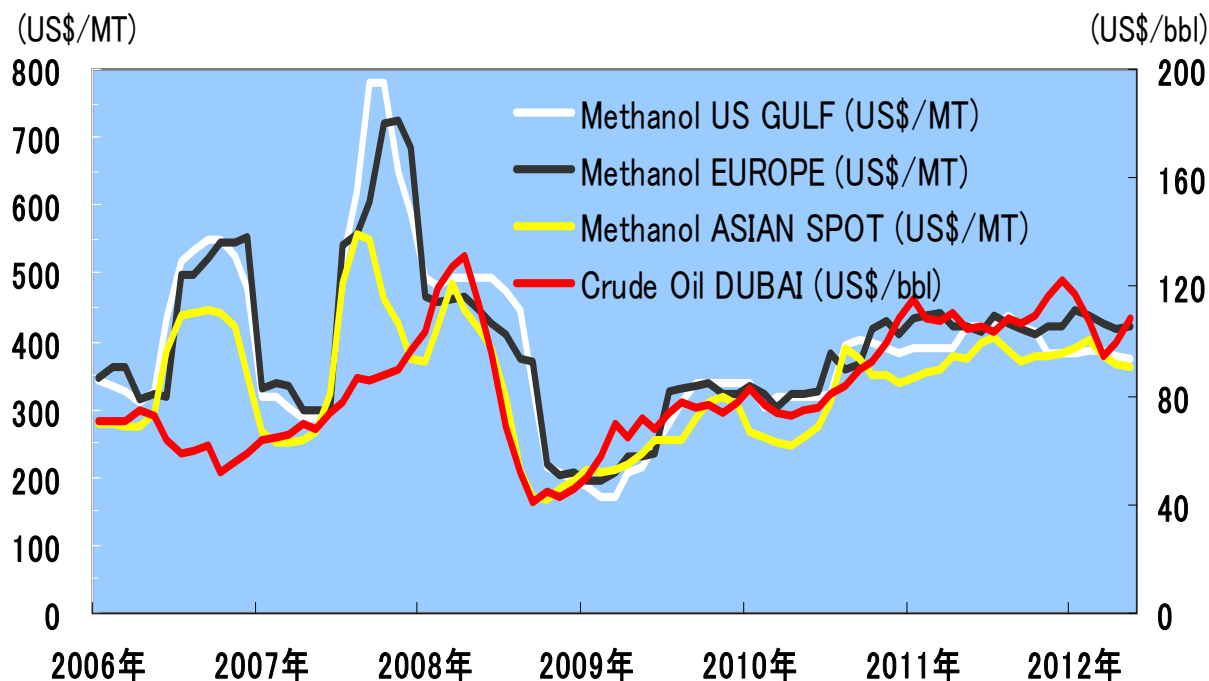
コエンザイムQ10は、事業撤退(2013年3月末までに生産終了)を前提とした生産・販売により、引き続き低調な収益を見込む。

引き続き堅調な収益を見込む。

天然ガス系化学品

メタノール価格の推移、持分法利益の動向

メタノール/原油価格の推移



持分法利益の動向

2012年度 上期(実績)

需要のけん引役であった中国の景気に陰りが見える一方、対イラン経済制裁の強化によるイラン産メタノールの供給懸念などがあり、需給バランスは大きな変動なく推移。

市況は、高水準で推移し、海外メタノール生産会社の業績は8月予想並み。

2012年度 下期(予想)

上期の環境から大きな変化はなく、持分法利益は8月予想並みを想定。

(2012年下期以降の見通し)

堅調な需要が新設・増設プラントによる生産能力の拡大を吸収。中国の石炭原料プラントは、市況の上下に応じて稼働と停止を繰り返す。アジアスポット平均価格は、350～400ドルの範囲で推移すると想定。

天然ガス系化学品

設備投資・製品開発動向

件名	動向
新規製品	<ul style="list-style-type: none"> ◇ SPG-PET「ALTESTER®」:耐熱透明ポリエステル樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 食品・電子部品の包装材料として市場開発を推進 ⇒ 新潟工場に1,800t/yのセミコマーシャルプラントを建設(2012年9月完工) ◇ 抗体医薬 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 台湾の抗体医薬品開発ベンチャー(グリコネックス社)と業務提携 ⇒ 抗体製造プロセス開発受託事業(CRO)と治験薬製造受託事業(CMO)に参入 ⇒ 新潟研究所にベンチ設備を建設開始 ◇ ピロロキノリンキノン(PQQ):健康食品素材 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 米国での本格マーケティング中 ⇒ 市場の反応を踏まえ、将来の大型設備建設を検討

芳香族化学品

【単位:億円】

	2012年度(実績・予想)			2011年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	651	616	1,267	684	587	1,271	▲ 32	28	▲ 4
営業利益	▲ 6	▲ 3	▲ 9	7	▲ 17	▲ 10	▲ 13	14	0

2012年度 上期(実績)

▶ 特殊芳香族化学品

MXナイロンや芳香族アルデヒドの海外向け、メタキシレンジアミンの国内向け販売が低調に推移し、減収減益。

▶ 高純度イソフタル酸

販売数量は前年同期並みも、高純度イソフタル酸市場全体としての供給過多の状況や、ポリエステルチェーンが低調であることから、販売価格の是正が進まず、減収減益。

2012年度 下期(予想)

MXナイロンや芳香族アルデヒドの海外向け、メタキシレンジアミンの国内向け販売の回復などを見込む。

販売数量は増加も、市場を取り巻く環境に大幅な改善は見込めない。水島工場の定期修繕によるコスト悪化もあることから、厳しい損益状況が続くと見込む。

芳香族化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向
メタキシレンジアミン	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 現行能力 水島工場2万5千t/y 新潟工場3万t/y ⇒ 2014年に水島工場で5千t/yの増強を計画中
新規製品	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 高耐熱性無色透明ポリアミドフィルム「ネオプリム®」 ⇒ フレキシブルディスプレイ、液晶パネルのガラス基板代替材料向けなどに市場開発を推進中 ⇒ フィルムメーカーとの提携・協業を模索 ◇ 核水添ポリカルボン酸 ⇒ LED封止材やディスプレイ部材向けの原料モノマーとして実需化 ⇒ 水島工場にセミコマmercialプラントを建設(2012年4月より稼働) ◇ 耐熱バイオベースポリアミド「LEXTER®」 ⇒ 植物由来(ヒマシ油)のセバシン酸が原料 ⇒ 新潟工場のMXナイロン装置での量産試験完了

機能化学品

【単位:億円】

	2012年度(実績・予想)			2011年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	651	668	1,319	602	618	1,221	49	49	98
営業利益	44	42	86	37	37	75	7	4	11

2012年度 上期(実績)

➤ 工業用無機薬品

過酸化水素は、国内の需要環境は低調も、震災影響を受けた前年同期に比べ販売数量が増加し、増収増益。

➤ 電子工業用薬品

超純過酸化水素は、海外需要の伸長により増収増益。ハイブリッドケミカルは、半導体向けの販売数量が前年同期に比べ増加し、増収増益。海外子会社は総じて堅調に推移し、前年同期並みの収益。

➤ エンジニアリングプラスチック

PCは、震災影響による生産停止があった前年同期に比べ販売数量が増加し、増収増益。POMIは、需要は堅調も、原料価格の上昇により、減益。

PCシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの需要が減少し、減収減益。

2012年度 下期(予想)

過酸化水素は、国内の需要環境の悪化による販売数量の減少を見込む。

超純過酸化水素は、海外需要が引き続き堅調に推移。ハイブリッドケミカルは、半導体向けの販売数量増加による増収増益を見込む。海外子会社は総じて堅調に推移する見込み。

PCは、上海子会社の本格稼働開始の遅れ等により、損失が拡大。POMIは、上期並みの収益を見込む。

PCシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルム新規グレードの拡販を見込む。

機能化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向
電子工業用薬品	◇ 海外子会社(米国・韓国・台湾・シンガポール)で、超純過酸化水素の増設工事中 ⇒ 合計95,000t/y増(2012年から2013年にかけて順次営業運転開始予定)
ポリカーボネート	◇ 中国 上海 8万t/y 完工(2012年6月商業運転開始) ⇒ 素材生産、コンパウンド、テクニカルサービスの一貫拠点を構築
ポリアセタール	◇ タイ 4万t/y 増設(2013年2Q商業運転開始予定) ⇒ 5千t/y増強の改造は完了 ◇ 韓国 3万5千t/y 増設(2014年1Q商業運転開始予定)
ハードコートシート	◇ スマートフォン向けカバーガラス代替用途において複数グレードを市場展開中

特殊機能材

【単位:億円】

	2012年度(実績・予想)			2011年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	264	305	570	282	236	518	▲ 17	69	51
営業利益	20	21	41	34	3	37	▲ 13	17	3

2012年度 上期(実績)

➤ 電子材料

BT材料は、高機能分野の販売は好調も、ボリュームゾーンである汎用用途の需要低迷が続き、減収減益。

日本サーキット工業(株)は、高機能製品が軌道に乗り、増収増益。

➤ 脱酸素剤

国内外ともに販売数量が堅調に推移し、前年同期並みの収益。

2012年度 下期(予想)

BT材料は、引き続き高機能分野の販売は好調に推移するものの、汎用用途の需要環境に大幅な改善は見込めず、減益の見込み。

日本サーキット工業(株)は、高機能製品の更なる拡販により、収益拡大を見込む。

国内外ともに販売数量が堅調に推移し、増収増益を見込む。

特殊機能材

設備投資・製品開発動向

件名	動向
BT材料	<ul style="list-style-type: none"> ◇ タイでの第2拠点建設を決定 ⇒ 生産能力25万m²/m ⇒ 2013年4月完工、同年末商業運転開始予定
高性能エポキシ材料	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 中国企業に生産委託を開始し、中国市場に展開中
脱酸素剤	<ul style="list-style-type: none"> ◇ エージレス® 食品の個包装化に対応した超小型グレードを拡充、市場展開中 ◇ ファーマキープ® 医薬品・医療用具向けの脱酸素剤。薬効成分の性能維持などに優れ、製薬会社などに展開中

MGC Wi | I 2014 不採算事業の構造改革①

➤ 現時点での進捗状況

● コエンザイムQ10

- 海外メーカー参入や既存メーカー増設により、供給過剰状態が継続し、今後の採算改善が見込めないことから事業撤退する。
- 2013年3月末までに生産停止。
- 2012年度第2四半期決算にて、事業整理損失引当金繰入額8億円を、特別損失に計上。
- 固定費削減の一層の推進。
- 生物化学事業の次の柱として、PQQ(ピロロキノリンキノン)の早期収益化を目指す。

MGC Wi | I 2014 不採算事業の構造改革②

● アンモニア

- プラントの経年劣化による維持費用の増大と少量生産による非効率性から、自社生産は停止し、外部調達へ切り換える方向で検討。
- メタキシレンジアミン、メチルアミン他自社重要事業へのアンモニア供給は継続。
- 供給ソースの確保と適切な物流体制の整備について詳細な計画を策定中。
- 固定費削減の一層の推進。

● イソフタル酸

- イソフタル酸は、芳香族化学品事業の中核である特殊化学品群(メタキシレンジアミン・MXナイロン他)を支える重要な位置付け。
- 原料であるメタキシレンと一体として捉え、生産規模とコストの最適バランスを検討中。

セグメント別 連結経常利益の推移

【単位:億円】

	2012年度(実績・予想)			2011年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	112	147	260	162	99	261	▲ 49	48	▲ 1
天然ガス系化学品	65	80	145	81	70	152	▲ 15	9	▲ 6
芳香族化学品	▲ 11	▲ 10	▲ 21	1	▲ 23	▲ 21	▲ 13	12	▲ 0
機能化学品	45	49	94	44	40	84	1	8	9
特殊機能材	19	23	42	33	3	37	▲ 14	19	4
その他	7	9	16	9	6	16	▲ 1	2	0
消去または全社	▲ 14	▲ 3	▲ 17	▲ 9	1	▲ 7	▲ 5	▲ 4	▲ 9

各種指標(1)

1. 各種指標推移(連結)

(単位:億円)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績・予想
設備投資額	174	295	394	351	275	354	424	330
(うち第2四半期累計)	132	147	160	193	141	146	224	177
減価償却費	187	注) 198	245	289	295	289	277	230
(うち第2四半期累計)	94	91	110	135	136	138	134	107
研究開発費	107	114	135	147	161	163	174	153
(うち第2四半期累計)	52	57	65	67	74	77	88	72
人員 (年度末時点)	4,466人	4,561人	4,686人	4,902人	4,920人	4,979人	5,216人	5,345人
一株当り 当期利益	70.98円	86.63円	87.01円	15.30円	12.89円	41.92円	27.28円	26.56円
ROA (総資産経常利益率)	9.5%	10.5%	10.2%	1.2%	1.4%	6.5%	4.5%	4.2%
ROE (自己資本利益率)	14.5%	15.0%	13.7%	2.5%	2.2%	6.9%	4.4%	4.2%
配当額	10.0円	14.0円	16.0円	16.0円	8.0円	8.0円	12.0円	12.0円
(うち第2四半期末)	4.0円	6.0円	8.0円	8.0円	4.0円	4.0円	6.0円	6.0円

注) 2006年度の減価償却費は、特損に計上した88億円を除いた額となっております。

2012年度予想の減価償却費は、定率法から定額法への変更の影響額(56億円減)を含みます。

2. セグメント別 設備投資額・減価償却額(連結)

(単位:億円)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績
設備投資額	天然ガス系化学品	26	62	56	107	70	140
	芳香族化学品	46	75	172	106	77	45
	機能化学品	69	86	74	90	81	148
	特殊機能材	32	70	91	46	44	17
	その他	0	0	0	0	1	2
減価償却費	天然ガス系化学品	44	46	54	63	75	85
	芳香族化学品	36	37	52	77	79	77
	機能化学品	71	80	96	97	86	79
	特殊機能材	35	36	42	50	51	42
	その他	0	0	0	0	3	4

各種指標(2)

3. 業績前提

	2005年度実績		2006年度実績		2007年度実績		2008年度実績		2009年度実績	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
メタノール (US\$/MT)	279	238	276	376	332	398	424	336	195	246
原料キシレン (US\$/MT)	690	740	1,000	870	960	950	1,200	600	770	870
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,200 ~2,000	1,000 ~1,300	1,200 ~1,600	1,600 ~1,700	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	800 ~1,500	1,000 ~1,300	1,200 ~1,700
ポリカーボネート (US\$/MT)	3,200 ~3,300	3,000 ~3,300	2,900 ~3,100	2,400 ~2,750	2,600 ~2,850	2,400 ~2,850	2,450 ~2,850	1,900 ~2,450	1,900 ~2,400	2,400 ~2,900
為替 (円/US\$)	110	117	115	119	119	109	106	95	96	90

	2010年度実績		2011年度実績		2012年度実績・予想		メモ
	上期	下期	上期	下期	上期(実績)	下期(予想)	
メタノール (US\$/MT)	283	307	349	385	385	370	アジアスポット平均価格
原料キシレン (US\$/MT)	830	1,050	1,260	1,280	1,190	1,200	スポット価格(FOB-Korea)
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,800 ~2,100	2,100 ~2,500	2,000 ~2,500	1,400 ~1,800	1,500 ~1,800	1,500 ~1,800	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,450 ~2,950	2,400 ~2,900	2,800 ~3,000	2,600 ~2,900	2,500 ~2,800	2,500 ~2,900	
為替 (円/US\$)	89	82	80	78	79	80	

※メタノールについては、上期は 1-6月、下期は 7-12月を示す。

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
広報IR部

TEL 03-3283-5041

<http://www.mgc.co.jp/>

<見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。